

2020年12月28日

各位

株式会社福井銀行
株式会社福邦銀行
株式会社日本政策金融公庫

福井銀行、福邦銀行、日本公庫の協調融資スキーム「新型コロナ対策 経営強化連携融資」の 融資実績について（2020年12月25日時点）

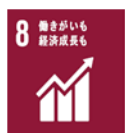
株式会社福井銀行（頭取 林 正博）および株式会社福邦銀行（頭取 渡邊 健雄）は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者の支援策として、日本政策金融公庫（以下、「日本公庫」という。）の新型コロナ対策資本性劣後ローン（※）を活用しながら協調融資を行う融資スキーム「新型コロナ対策経営強化連携融資」を本年9月に創設しておりますが、本協調融資スキームでの日本公庫の新型コロナ対策資本性ローンの融資決定が、2020年12月25日時点で9社、12億円となりました。

ご融資の資金用途は、新型コロナウイルス感染症の影響による財政面の悪化を補填する資金のほか、新型コロナウイルス感染症による事業環境の変化に対応するための、新たな事業を買収するM&A資金や工場設備の取得資金など多岐に亘ります。

福井銀行、福邦銀行および日本公庫は、引き続き連携を深め、コロナ禍に立ち向かう地域の中小企業・小規模事業者の事業の発展・継続を積極的に支援してまいります。

※新型コロナ対策資本性劣後ローン（制度名：「新型コロナウイルス感染症対策挑戦支援資本強化特別貸付」）は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている経済環境下にあつて、関係機関の支援を受けて事業の発展・継続を図る中小企業・小規模事業者の財務体質強化のために資本性資金を供給することを通じて、資金調達を円滑化することを目的としており、2020年8月から制度の取扱いを開始しております。

■ 該当するSDGsの目標



福井銀行グループは、2018年12月に「SDGs宣言」を表明いたしました。SDGsの考え方を経営戦略の軸に組み込み、銀行業を通じて持続可能な社会の実現に努めてまいります。

以上